

『海上衝突予防法の適用条文解釈における 漁ろうに従事する船舶運航者と一般動力 船運航者の差異に関する研究について』 -自動運航船を見据えた現行法の基準検証- (第94回月例会)

■講演概要等

自動運航船の開発が様々な方面から検討されている状況下、海上衝突予防法に関連した船員の避航操船を数値化し、その利点や問題点を提案する論文が発表され、一般財団法人 山縣記念財団から2022年山縣勝見賞の論文賞に選ばれました。この論文は、今後の自動運航船への法的議論や運航基準を定める上で有益な資料となると期待されています。

今回は、論文を発表された海技大学校航海科教授 万谷 小百合 氏を講師に迎え、船舶運航者の意識レベルまで踏み込んだ調査結果を踏まえて講演していただきます。

■講師

独立行政法人海技教育機構
海技大学校 航海科教授 万谷 小百合 氏

■開催日時

令和4年10月27日(木) 15:00~16:00頃まで

■開催場所

神戸市中央区文化センター 10階 1001-1002会議室
神戸市中央区東町115番地 電話 078(381)7899



■主催

公益社団法人 神戸海難防止研究会 (担当: 渡川又は藤原)
電話 078(332)2035

入場無料 (定員40名)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大防止対策
といたしましてマスクの御着用をお願いいたします。